

微生物殺虫剤

サブツナ[®]

フロアブル

チョウ目害虫の防除に!!

- 使用回数の制限なし!!
- 野菜類に使用可能!!



新
パッケージ!
使いやすくなりました

しっかり振ってください

アイザワイ系
BT水和剤

微生物殺虫剤



サポナ[®]

フロアブル

成分：バチルス チューリンゲンシス菌の生芽胞および産生結晶毒素
(方価として1,000B.m.m単位/mg).....10.0%
界面活性剤、増量剤等.....90.0%
毒性：普通物

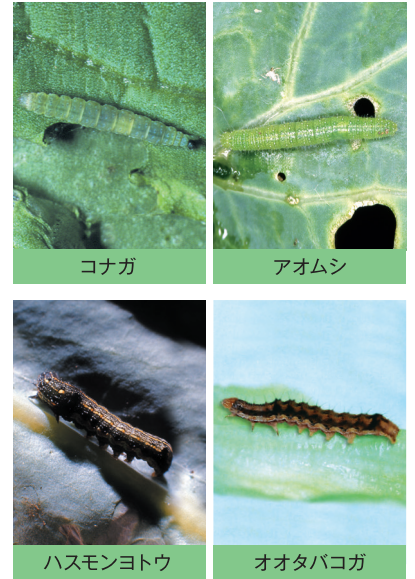
チョウ目害虫の防除に!!

- フロアブル製剤なので使用時に調製しやすく、作物の汚れが少ないです。
- 幅広いチョウ目害虫(コナガ、アオムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ等)に高い効果を発揮します。
- JAS(日本農林規格)で定める有機農産物生産に使用することができます。
- 特別栽培農産物生産に使用しても化学合成農薬としてカウントされません。

適用病害虫の範囲および使用方法

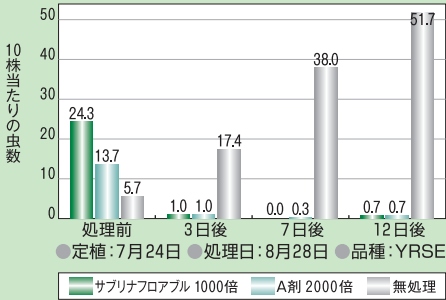
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農薬の総使用回数
野菜類 (はくさい、 えごま(葉を除く))	コナガ	1,000~1,500倍	100~300ℓ/10a	発生初期 収穫前日まで	—	散布	—
	アオムシ、ヨトウムシ	1,000倍					
	ハスモンヨトウ	500~750倍					
	オオタバコガ	500倍					
はくさい	コナガ	1,000~1,500倍					
	アオムシ、ヨトウムシ	1,000倍					
からしな(種子)	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	1,000倍					
	ハスモンヨトウ	500~750倍					
豆類(種実)	ヨトウムシ	1,000倍					
	ハスモンヨトウ	500~750倍					
いも類	オオタバコガ	500倍					
	アワノメイガ	1,000倍					
雑穀類(ひえを除く)	アワノメイガ、イネヨトウ	1,000倍					
	コナガ	1,000~1,500倍					
えごま(葉)	アオムシ、ヨトウムシ、ベニフキノメイガ	1,000倍					
	ハスモンヨトウ	500~750倍					
	オオタバコガ	500倍					
	ベニフキノメイガ	1,000倍					
えごま(種子)	チャノコカクモンハマキ、 チャハマキ、チャノホソガ	1,000倍	200~400ℓ/10a	発生初期 摘採7日前まで	—	散布	—
	茶		200~400ℓ/10a	発生初期 摘採7日前まで			
食用ほおのき(葉)			マイマイガ	200~700ℓ/10a			
	食用さくら(葉)(花)		ケムシ類	100~300ℓ/10a			
飼料用とうもろこし			アワノメイガ	200~700ℓ/10a			
	樹木類		ケムシ類	200~700ℓ/10a			

適用害虫

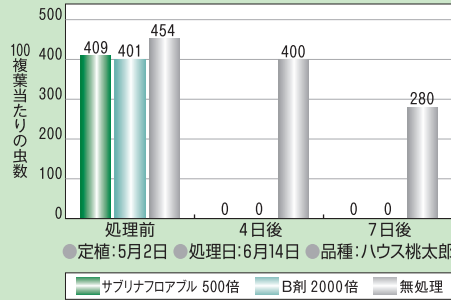


試験成績

●コナガ [キャベツ]

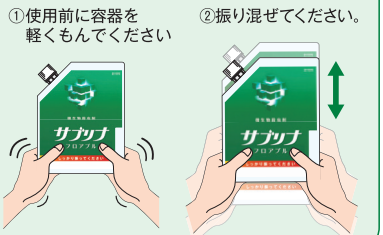


●ハスモンヨトウ [トマト]



使用時の注意

使用前によく振ってください!!



効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから、使用して下さい。
- 使用量に合わせて薬剤を調製し、使いきって下さい。
- 本剤を所定量の水にうすめ、十分かきまぜて散布液を調製して下さい。
- はくさいに対しては薬害を生じる恐れがあるので、所定の希釈倍数を厳守して下さい。
- たかなに使用する場合、高温期には薬害を生じることがあるので注意して使用して下さい。
- 展着剤を加用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤の加用に当たっては事前にその適否を確認して下さい。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面散布用の肥料とは混用しないで下さい。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- 本剤は若齢幼虫に効果が高いため、若齢幼虫時に時期を失わず散布して下さい。
- 蚕に対する毒性があるので、養蚕地帯及び養蚕農家、共同飼育場などの周辺では使用しないで下さい。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合、飛散してかからないように、風向きなどに十分注意して散布して下さい。なお本剤の使用に当たっては散布地域の使用規制に従って下さい。
- コレマンアブラバチの活動に影響を及ぼす可能性があるため注意して下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意して下さい。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。



- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用を避けて下さい。なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、1日以上たってから行って下さい。
- ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。



- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意



- 散布の際は農業用マスク、手袋、不透水性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は、作業に従事しないようし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
- 夏期高温時の使用を避けて下さい。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布地域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意して下さい。

● 使用前にラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 使用後の空袋・空容器は圃場や水路などに放置せず、適切に処理してください。● 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は